

2016

直富商事株式会社

CSR報告書

Naotomi Corporate Social Responsibility Report 2016



経営理念

地域に愛され、必要とされる会社とする。

社員が物心共に幸福と思える会社とする。

行動指針

安全・遵法第一、営業第二。

全てにおいて、常に顧客目線で考え、行動する。

責め心の無い厳しさ、馴れ合いでない優しさを持ち続ける。

■会社概要

社名(商号)：直富商事株式会社

資本金：45,000千円

本社所在地：〒381-0022
長野市大字大豆島3397番地6

売上高：80億71百万円(2017年2月)

従業員数：486名

法人設立：昭和50年3月10日(創業昭和23年)

■CONTENTS

経営理念	2
行動指針	2
会社概要	2
編集方針	3
トップメッセージ	4
Highlight	5
事業紹介	7
朝礼委員会活動報告	8
遵法への取り組み	9
安全衛生への取り組み	11
環境への取り組み	13
地域・社会とのかかわり	17
社員とのつながり	20

■編集方針

本報告書は、直富商事の全事業について掲載するとともに、環境および社会的側面における活動実績を報告しています。

◆報告範囲

対象期間：2016年度
(2016年3月1日から2017年2月28日まで)
ただし、一部で当該年度以外の取り組みや活動内容も記載しています。

◆発行年月

2017年6月発行

◆発行責任部署および連絡先

直富商事株式会社 総務部
TEL:026-222-1880 FAX:026-222-1881

時代に向き合い、 常に変化を見据えた ビジョンでCSRを推進します。

直富商事株式会社 代表取締役社長

木下 繁夫



企業とは必要とされねば社会から退場を命ぜられ、必要とされれば社会からその必要性を教えられ、その声に謙虚に耳を傾けると企業の将来の道も開けてくる。その様に最近考えます。

ところで、子供はなかなか願うようには育ちません。現在実感しながら子育てを妻の元行っておりますが、我々が願うように子供に行動してもらうには、まず子供の「今」の気持ちや考えを「知る」事が先決ではないか、と感じています。「知る」にはじっと子供の「今」を観察する必要があります。観察しながら我々の言う事が聞ける機会を待つ事が大事と感じます。機会が来たら、それこそ言って聞かせてやってみせ、褒めてやらねば継続して願うような行動は取ってくれません。

子育ては会社を育てて行く事と共通する部分が多々あるように思います。「企業は環境適応業である」ので、世の中の動きや変化に目配りしつつ耳を傾けながら、じっと社内の現状認識を怠らずに、軌道修正を加えながら計画に沿うよう導いて行く。

理屈通りには行きませんが、しかし計画通りに会社を運営し、運営しつつ企業の寿命を延ばして行くには「環境変化等の今を正しく知る」事は極めて大事な事と思います。

「今」世の中から我々企業に求められている事は、それこそ多種多様であります。弊社が得意とする環境は勿論、労働安全衛生、人権(対従業員)、雇用創出、品質、お取引先への配慮、地域貢献、等々。

弊社はこれらと真摯に向き合い、目配りしながら謙虚に皆様の声に耳を傾け、「今」何を求められているのか？将来何を求められるのか？知りたいし知らねばならず、知ったうえで身の丈に合ったCSRを実行してまいります。

『自分の知恵は有限であっても、周りの皆さんの知恵を借りれば知恵は無限となる。』

どうぞ今後とも皆様からの忌憚のないご指導を弊社に対し頂戴したく、それによりCSRを高めて行ければ、それこそ真のCSR活動であり、社会から必要とされる直富商事であり続けられるのではないかと考えております。

長野市委託浄掃事業協同組合の全車両に AED 搭載



弊社が加入している長野市委託浄掃事業協同組合（長野市より家庭ごみ・資源物の収集運搬業務を受託）の収集車両：通称オレンジパッカー車全38台に、2016年9月9日「救急の日」からAED（自動体外式除細動器）の搭載を開始致しました。

万が一の事態が発生した際には、搭載しているAEDで迅速な救命処置を行うことが可能となります。

スプリング入マットレス及びソファの受入開始

2016年10月25日に長野市からの許可を受け、長野市内の一般家庭で不要になったスプリング入マットレスとソファの受入処分を本社工場（長野市大豆島）にて開始しました。

長野市清掃センターへの搬入は月2回と限定されておりますが、弊社は月曜日から金曜日（祝日を除く）までの受入が可能で、事前予約も不要のため、多くの方にご利用頂いております。



廃太陽光発電パネル広域収集網のモデル事業



再生可能エネルギーの固定価格買取制度の施行後、日本では太陽光発電パネルの導入が急速に加速しました。今後はこれまでに導入された太陽光発電パネルが、破損や性能劣化などの原因で廃棄物として大量に排出されると予想されており、今から対策を進めていくことが重要な課題となっています。

そこで弊社東御営業所では、環境省の廃太陽光発電パネルのモデル事業として、2016年10月より廃太陽光パネルの回収を実施し、今後の課題に対するシステム構築の実現を目指しています。

東御営業所 新工場棟完成



2016 年 12 月、東御営業所内に金属くず類の受入又は買取を行う新工場棟が設立されました。新棟の完成により長野県東信地区としてほぼ全ての品目を取り扱えるようになりました。

大学との連携事業

技術研究室では下記の大学等との連携事業を行っています。

1. 信州大学工学部高村研究室の住宅建設時副産廃棄物のゼロエミッション研究会への参加
2. 信州大学工学部松本研究室とのメタン発酵特性に関する共同研究及び水環境学会発表への協力
3. 長野高専浅野研究室とのメタン発酵特性に関する共同研究
4. 東京農工大学農学部高柳研究室との近赤外線を活用した廃棄物選別研究



直富商事と直富希望小学校の間で「教育支援事業に関する覚書の調印式」を執行



2016 年は長野市と石家庄市の友好都市締結 35 周年という記念の年で、長野市主催で歓迎式典が開催され、石家庄市から邢国輝市長を団長に友好代表团 16 名様が長野にお見えになり、直富希望小学校の 5 名も記念式典へ参加させて頂き、石家庄市外事弁公室様のご提案で、邢国輝石家庄市市長を始めとする公式訪問団立会いのもと、直富商事と直富希望小学校の間で「教育支援事業に関する覚書の調印式」を執り行わせて頂きました。

事業紹介

あらゆる廃棄物の再資源化を目指して

直富商事は、金属スクラップ・車両解体・産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の収集運搬処分、一般廃棄物の収集運搬処分、資源貿易に加え、廃プラスチック・古紙・古着等のリサイクル、食品廃棄物からの肥料飼料製造、廃食油からのバイオディーゼル燃料製造、廃棄物処理の技術研究まで行う総合環境企業です。

動脈としてのインフラ整備が進み生活は便利になってきた反面、環境汚染が深刻化し、大きな問題となっています。限りある資源を守り、未来の子供たちが安心して暮らせる環境を次世代に受け継いでいくのが我々の使命であると考え、循環型社会の実現を目指し、社会に貢献しています。

『安全第一・遵法第一・営業第二』を行動指針として掲げ、『全ての廃棄物を再資源化』をモットーに、環境に配慮した取組みを実現しています。

事業内容

金属スクラップ

金属スクラップを回収。加工後は電気炉メーカー等へ納入。
合併会社と金属スクラップ等の原料の輸出。



産業廃棄物

産業廃棄物の収集及び中間処理。
リサイクル可能品目は中間処理後に再生利用。



古紙・機密書類

古紙類・機密書類の収集及び処分。
リサイクルして再生利用。
機密書類は、厳重管理の上処分。



一般廃棄物

事業系・家庭ゴミの収集及び処分。
個人宅の遺品整理・遺品査定サービス。



解体工事

建物・設備等の解体工事及び空き家等の家屋解体工事。



ビルメンテナンス

ビル・建物等の設備管理及び清掃業務管理。



食品リサイクル

食品廃棄物の収集及び処分。
飼料・肥料として再生利用。



技術研究・開発

廃棄物の性状及び工場排水等の分析。
大学機関との共同開発研究。



■ 朝礼委員会活動報告

活力朝礼

直富商事のスタートは、朝の活力朝礼から始まります。

弊社では、「朝礼委員会」を中心として『活力朝礼』に力を入れております。

活力朝礼とは、士気の高揚、方針の徹底、チームワーク・マナーの向上、情報共有を目的としており、毎朝各部門毎に実践し、職場の活性化に繋がっています。

28 年度朝礼委員会年間目標

『朝礼委員が率先して職場で指導できるようにする』

朝礼委員メンバーの半数以上が代わったこともあり、先ず朝礼委員自身が朝礼の基礎を一から身につける必要がありました。そこで、基本動作の訓練等を徹底的にやり、委員が各職場で指導できるようにしました。

朝礼委員長 戸谷昭彦

職場の朝礼チェック実施

朝礼委員が定期的に各職場をまわり、朝礼時の身だしなみや基本動作等が徹底できているか採点を行っています。(チェック実施月：8月・2月 — 100点満点として採点)

全員が同じ流れの中に身を置いて基本動作を揃えることで、仲間との連帯意識が高まります。チェック時の指摘事項を踏まえて、全員で気持ちを合わせる朝礼を心掛けています。

8月と2月の結果を比較し全体の平均点は高まり各職場の朝礼改善が見られましたが、各グループ毎に温度差があるのが実情ですので、全体的な底上げを図っていきます。

8 月度チェック結果一覧

順位	朝礼グループ	点数
1	佐久営業所	86
2	上田営業所	85
3	市場・浄掃	82
4	東御営業所	82
5	管理系グループ	79
6	環境営業	77
7	松本営業所	76
8	秋古工場	74
9	秋古ドライバー	74
10	修理工場・技研	74
11	リサイクルドライバー	73
12	環境整備	72
13	リサイクル工場	71
14	環境部	69
15	原料ドライバー	69
16	原料部	66
17	環境部早出	66
18	JR 新潟	59
19	JR 長野	55
20	苦桃工場	52

2 月度チェック結果一覧

順位	朝礼グループ	点数
1	佐久営業所	96
2	秋古工場	84
3	東御営業所	83
4	環境整備	83
5	松本営業所	77
6	管理系グループ	77
7	リサイクルドライバー	75
8	原料部	74
9	市場・浄掃	73
10	原料ドライバー	73
11	環境部早出	71
12	修理工場・技研	71
13	秋古ドライバー	70
14	環境部	69
15	環境営業	67
16	リサイクル工場	66
17	JR 長野	52
18	苦桃工場	49

朝礼教育訓練

中途入社社員へ朝礼の基本を学んでもらうため、随時朝礼特訓を開催しています。

今年度は各事業所で総勢 16 名に対して活力朝礼特訓を実施しました。全員が朝礼の意義と活力朝礼をマスターするように委員会では継続してこの教育を実施していきます。

朝礼強化週間

朝の活力の推進するため朝礼及び連帯感を高めるために朝礼強化週間を実施しました。

実施期間：7月25～29日

- 朝の挨拶強化 | 朝礼委員と幹部社員は、出社してきた職場の皆さんへ元気に挨拶・握手を行いました。
- ラジオ体操の強化 | 期間中に行うラジオ体操は声を出して体操しました。
- 各グループ毎の重点実施事項の推進 | 強化週間中はグループ毎に重点実施事項を決め、それに重点を置いた活動をしました。

遵法唱和の開始

会社の行動方針でもある「安全・遵法第一、営業第二」の精神に則り、朝礼プログラム内に遵法唱和を取り入れました。普段の朝礼の中から遵法精神を養っています。



■ 遵法への取り組み

直富商事は、法令や社内規程等を遵守し、社員一人ひとりが高い倫理観とコンプライアンスの意識を持って事業活動に取り組み、信頼される企業であり続けます。

コンプライアンス室が中心となり、基本方針に基づいて、役員と社員に対するコンプライアンス教育と啓発に努めています。特に産業廃棄物に携わる業者としては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)」の遵守・徹底が不可欠です。コンプライアンス室でまとめた『遵法唱和』を全社員に配布して、毎日の朝礼で唱和することにより社員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上を図っています。また、定期的に各営業所を巡視して、違反を未然に防ぐ対策を講じています。

基本方針

1. 経営理念を具現化するために、社員への遵法・環境教育を充実させる
2. 廃棄物処理法違反を起こさない

遵法教育実施実績

[平成 28 年度社内遵法教育実施状況]

勉強会名	開催月日	出席者数
収集運搬に関する遵守事項	5/12	7 名
遵法の意識向上とマニフェスト勉強会	5/26、5/31、6/6、6/10、6/16、6/17	107 名
収集運搬に関わるマニフェスト実務	7/7、7/8、7/21、7/22	89 名
環境測定についての営業勉強会	7/11	13 名
産業廃棄物の種類とマニフェスト 基礎編	8/4、8/19、8/23、8/24、9/1、9/9、9/12、9/15、9/23、9/26、9/27、10/13、11/8、11/10、11/11、11/14	131 名
電子マニ基礎学習・課税文書について	1/24	26 名
遵法唱和項目の解説	2/6、2/7、2/14、2/16	72 名
食品廃棄物等の不適正な転売防止のための 取組みガイドラインの解説	2/24	22 名



遵法唱和

- 第 1 条** | 作業指示書に記載の無い廃棄物は営業に確認の連絡をとります。
- 第 2 条** | マニフェストを受領したときには記載内容が適切か確認します。
- 第 3 条** | マニフェストは決められた事項を正しく記載し、収集運搬終了日及び処分終了日より 10 日以内に送付します。
- 第 4 条** | お客様の依頼であってもマニフェストに虚偽の記載はしません。
- 第 5 条** | マニフェストの無い産業廃棄物は受け取りません、運搬しません。
- 第 6 条** | 廃棄物処理施設の維持管理の記録は正しく記録し 3 年間保存します。
- 第 7 条** | 産業廃棄物の許可車両には許可証、マニフェスト、電子マニフェスト加入者証を携帯します。
- 第 8 条** | 廃棄物の収集運搬にあたってはシート掛けの実行、スライドシャッターを閉め、飛散防止対策を確実に実行します。
- 第 9 条** | 可燃物の処理については、発生場所市町村を超えた処理施設へ運搬しません。

長野県産業廃棄物 3 R 実践協定締結

直富商事は、長野県との間に『長野県産業廃棄物 3 R 実践協定(収集運搬業・処分業)』を締結しています。

この協定は産業廃棄物(特管含む)を排出する事業者及び産業廃棄物の処理を受託する処理業者が、産業廃棄物の排出抑制・再利用・再生利用及び適正処理に関して自主的な取り組みを行う事により、産業廃棄物の減量化・適正処理の一層の推進を図る事を主たる目的としております。

協定を実行するために弊社の実践計画方針には「処理基準に基づく適正な収集運搬及び処分を行う」、「排出事業者の減量・リサイクルへの提案を目的とした処理内容の積極的な情報公開を行う」、「安全運転エコドライブ推進システム(ドライブレコーダー)の導入による安全運転と地球環境の保全に貢献する」を掲げております。

協定の期間は3年間と定められておりますが、平成 28 年 3 月には「収集運搬業」に関する協定の更新を行いました。実践計画に掲げた活動を継続して取り組んでまいります。



収集運搬業者



処分業者

情報セキュリティ方針

直富商事は、以下に示す情報セキュリティ基本方針を定め、社会からの信頼を常に得られるよう、グループ全体で情報セキュリティに取り組めます。

1. 基本理念

直富商事株式会社は、循環型社会の担い手として、“安全はすべてに優先する”、“美と心地よさを残す”の企業理念に基づき、人間の社会活動と地球環境の保全との調和に貢献することを目指しております。

情報が急速に発展する社会において、当社は廃棄物処理業者としてお客様に安全安心の質の高いサービスを提供してまいります。お客様よりお預かりした廃棄物より情報資産が故意、過失、事故及び災害の脅威から保護し、適切なセキュリティ対策の実施により業務を完遂してまいります。

ここに「情報セキュリティ基本方針」として、以下を順守し行動します。

2. 基本方針

- (1) 当社の事業活動に関連する法規則、その他お客様の要求事項を順守します。
- (2) セキュリティの維持向上の為に、管理体制組織を確立し情報セキュリティ対策の継続的改善を図ります。
- (3) 情報漏えいを発生させないよう従業員へ必要な教育を継続的に教育訓練します。また、情報漏えい事故が発見された場合は迅速に対応します。
- (4) 情報漏えいを防止するため、情報資産のリスク評価を行い適切な対策を実施します。

この情報セキュリティ基本方針は、全てのステークホルダーへ周知するとともに、一般の人にも開示します。

■安全衛生への取り組み

直富商事は、『安全第一』を行動指針の第1に掲げ、全社員の安全意識の維持向上を図り、安全且つ安心して働ける環境づくりに努め、事故ゼロを目指しています。

基本方針

- ・ 事故を起こさない、社員に怪我をさせない
- ・ 安全衛生活動のレベルアップ

2016 年度事故防止の取組

■事故防止の取組(3本の柱)

(1)再発防止

原因を正確に把握し、効果があって実行可能な対策を実施する。

(2)予防対策

- ①KY 活動 | 運転・作業の中に潜んでいる危険を予知し、それを回避する。
- ②リスクアセスメントの取組 | リスクアセスメントの手法により、作業中のリスクを把握・評価し、リスクのレベルを低減する。
- ③5S 活動 | 5S 活動を推進することにより、作業場の不安全状態を取り除く。
- ④他山の石の活用 | 他企業等で発生した事故を教訓とし、同種の事故を起こさない。

(3)社員の意識の向上

社員一人一人が、事故を起こさないという強い意識を持つ。

安全教育

2016 年度は、従業員から公募した『危険予知 気付いた時に直ぐ改善 みんなでつくろうゼロ災職場』をスローガンとして、事業所ごとに「ヒヤリハット」や「リスクアセスメント」を実施しております。

前年度の事故や他社の事故事例を教訓として、同種の事故を起こさないために、定期的な安全教育の実施や安全大会を開催して、全従業員の安全意識の向上を図っています。

安全教育実施実績

[平成 28 年度社内勉強会実施状況]

教育内容	開催月日	出席者数
ドライブレコーダー勉強会(本社 / 秋古工場 / 市場事業所)	随時	21 名
工具の使い方教育(スパナ・レンチ・ドライバー・電気ドリル・タツパ)	4/22	14 名
危険感受性教育—事故防止の取組、危険感受性・敢行性セルフチェック	4/25、5/6、5/20	94 名
中途入社社員安全衛生教育	5/16	31 名
特別教育—刈払取扱い教育	6/9、7/2、7/19	14 名
安全大会(秋古工場 / 本社)	6/13、6/28	195 名
特別教育—アーク溶接	7/21	9 名
特別教育—高所作業車運転業務(10m未満)	8/3	3 名
安全体感研修(外部研修)	11/22、1/26	9 名



安全大会(本社)



刈払取扱い教育



ドライブレコーダー勉強会

シートベルト着用チェック 年3回

全国交通安全運動活動の一環として、従業員の通勤時シートベルトチェック（運転中の携帯電話使用も併せてチェック）を実施しました。



シートベルト衝撃体験会

開催日：5/24 出席者数：87名

28年度は危険感受性をテーマに挙げ、JAFに要請し、シートベルト衝撃体験車を手配して全従業員を対象とした体験会を実施しました。

一人一人がシートベルト着用の重要性を再認識し、安全意識の向上を図りました。



産業医衛生講話 / 健康相談

開催日：10/27 出席者数：50名

産業医の先生による衛生講話を開催いたしました。

28年度は、「メンタルヘルスについて」をテーマに行って頂きました。

また、月に1回のペースで、産業医の健康相談を行っています。希望者には健康面やメンタル面での相談や、健康診断の結果に対する保健指導を行っています。従業員の健康増進に取り組んでおります。

■ 環境への取り組み

直富商事では 2001 年 8 月に ISO14001 の認証を取得し、環境に配慮した経営を行っています。

深刻化する地球温暖化や森林資源の減少など地球環境問題への対策は、廃棄物を扱う企業として大変重要な責任であると考えます。より豊かな生活を実現するため、環境負荷の抑制と保全を最重要課題の一つとして位置付け、環境対策を推進し、環境保護や資源の再利用に努めます。

環境方針

基本理念

直富商事株式会社は、循環型社会の担い手として、“安全はすべてに優先する”、“美と心地よさを残す”の企業理念に基づき、人間の社会活動と地球環境の保全との調和に貢献することを目指すとともに、自らが及ぼす環境への負荷を軽減し、もって地域住民との協調を図ります。

当社の事業活動が環境に与える影響を考慮し次の項目を重点事項として取り組みます。

- ①お客様の環境負荷の低減の為にあらゆる廃棄物の再資源化に取組み、循環型社会の形成に寄与します。
- ②省資源・省エネルギーを推進します。
- ③大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の環境に与える影響を低減し、環境汚染の防止を図ります。
- ④花と緑に囲まれた工場を創造・維持し、地域環境との調和を図ります。

環境保全 2016 年度目標と実績

[平成 28 年活動実績と平成 29 年度事業計画]

活動項目	平成 28 年度		達成度	平成 29 年目標
	目標	実績		
産業廃棄物から軟質プラスチック分別収集によるリサイクル率アップ	180 万円 / 年	3,398,350 円	◎	300 万円 / 年
雑古紙から雑誌分別によるリサイクル率アップ	雑誌より新聞紙を 10t / 月 分別	12 ヶ月連続目標達成 224t / 年	◎	雑誌より新聞紙を 12t / 月 分別
振動(振動レベル 70dB 以下)・騒音(等価騒音レベル 67dB 以下)防止	クレームゼロ	クレームゼロ	◎	クレームゼロ
エコドライブの推進	93 台 / 93 台	93 台 / 93 台	◎	—

環境汚染・水質汚濁・騒音等の防止対策と各種環境データ

工場における環境保全対策として、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の項目を定期的に測定・分析し、環境へ及ぼす影響の把握に努め、適正管理を行っております。

法令に準じた基準値を設け、測定の結果全て基準を遵守しています。

周辺住民の方や従業員への健康被害を及ぼすことのないよう徹底管理しております。

秋古工場（焼却炉） ばい煙

測定項目名	測定数値	排出基準
	H28.3.3	
ばいじん量酸素補正值	0.050 g/m ³	0.25 g/m ³
硫黄酸化物排出量	<0.2 m ³ /h	5.4 m ³ /h
窒素酸化物量酸素補正值	73 cm ³ /m ³	法的基準なし
塩化水素量酸素補正值	<76 mg/m ³	700 mg/m ³

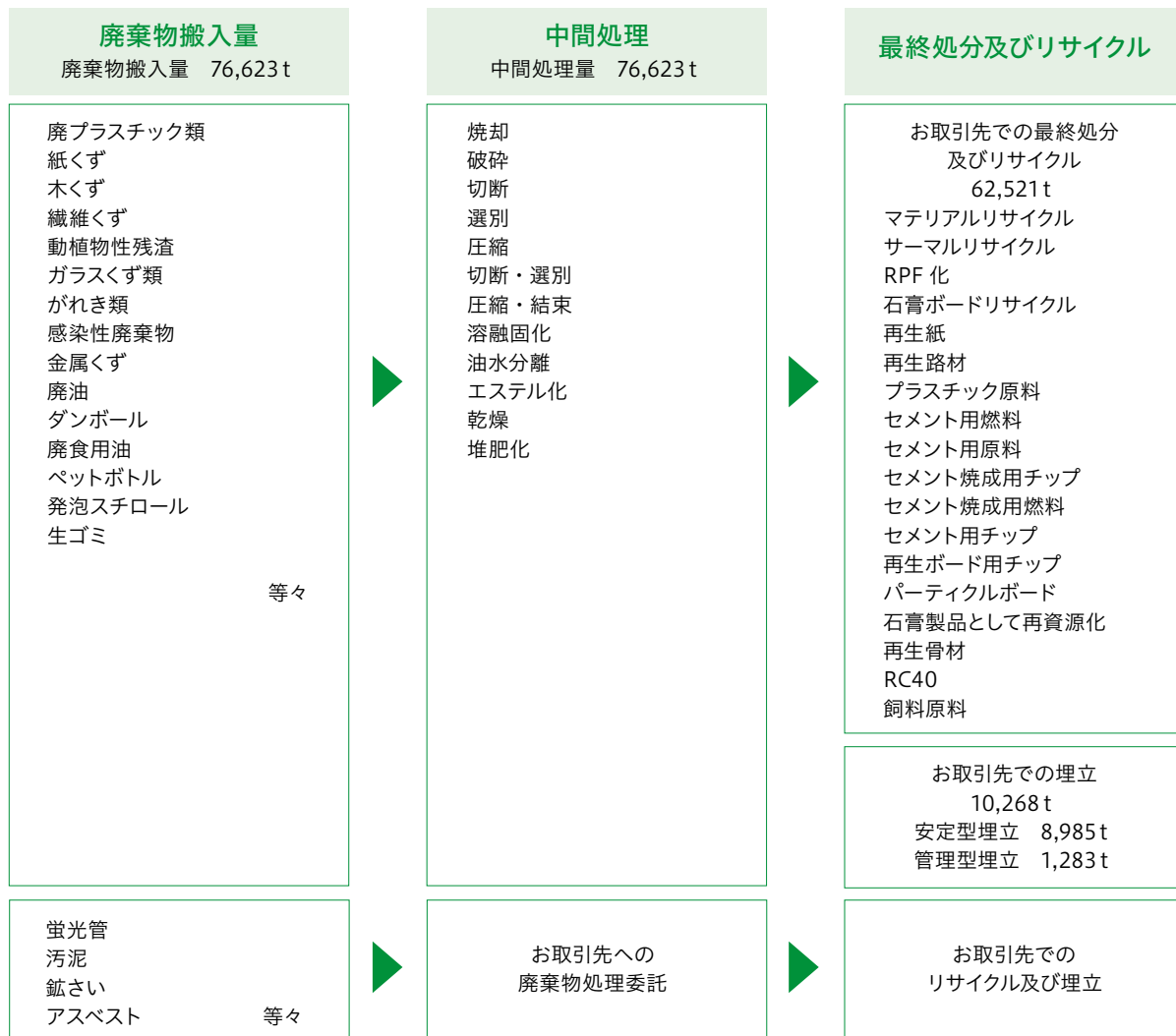
秋古工場 排水・浄化槽処理水測定結果

測定項目名	測定数値	排出基準
	H29.2.24	
水素イオン濃度	7.1 (20.3℃)	5.8～8.6
BOD (mg/ℓ)	1.7	160
SS (mg/ℓ)	22	200
ノルマルヘキサン抽出物（鉱油類）(mg/ℓ)	<1.0	5
ノルマルヘキサン抽出物（動植物油脂類）(mg/ℓ)	<1.0	30
カドミウム (mg/ℓ)	<0.005	0.03
シアン (mg/ℓ)	<0.01	1
鉛 (mg/ℓ)	<0.05	0.1
六価クロム (mg/ℓ)	<0.02	0.5
ひ素 (mg/ℓ)	<0.002	0.1
水銀 (mg/ℓ)	<0.0005	0.005
1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/ℓ)	<0.0005	3
トリクロロエチレン (mg/ℓ)	<0.002	0.1
テトラクロロエチレン (mg/ℓ)	<0.0005	0.1
ほう素 (mg/ℓ)	0.1	10
ふっ素 (mg/ℓ)	0.17	8
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/ℓ)	1.0	100
（浄化槽処理水）大腸菌群数 (個/cm ³)	0	法的基準なし



廃棄物実績

弊社で取り扱った廃棄物処理は、品目や性状に合わせて適正処理しております。



 **リサイクル率 85%**

ISO14001 の認証取得状況

直富商事は、企業が環境に配慮した行動を行うためのマネジメントシステムを定めた国際規格である「ISO14001」の認証を 2001 年 8 月 22 日付にて取得し環境保全活動を継続しています。

(認証機関：株式会社日本環境認証機構(JACO))

2016 年 7 月に、3 年に一度の ISO 更新審査が行われ、更新審査を通過しました。



環境委員会活動報告

認証取得している環境マネジメントシステム (ISO14001) に従って、環境委員会が中心となって毎月 1 回定期的に委員会を開催して環境活動を推進しています。

2016 年度は更新審査が行われ、認証機関による指摘事項に対し改善策を委員会の中で議論し取り組んだ他、PDCA サイクルをまわしながら継続的改善に取り組みました。

また設備を新しく入替することで、排気ガスなど環境に与える影響を軽減できることから、本社工場のナゲット選別機にハイドロ装置を設置したり、パッカー車やトラックを一部入替するなど、環境に配慮した活動を委員会メンバーを中心に行っています。

太陽光発電システムの導入



地球環境に配慮した、再生可能エネルギーの導入に取り組んでいます。

第二工場の屋根に太陽光パネル 270 枚を設置し、2014 年から発電を開始しています。

最大出力 51.3kW 規模の発電を行い、年間 17,182kg の CO₂ を削減するとともに、年間 12,402ℓ の石油使用を削減し、環境保全に貢献しています。

過去の数値や詳細は、ホームページの太陽光発電ページにてご覧頂けます。

☞ <http://www.naotomi.co.jp/service/solar.php/>

	発電量	石油使用削減量	二酸化炭素削減量	森林換算面積
2016 年度	61,150kWh	16,938L	19,232kg-CO ₂	16,943 m ² / 年

無電極ランプ「エコ太郎」の導入



無電極ランプ「エコ太郎」を東御営業所新工場棟に導入しました。

無電極ランプとは、内部に電極やフィラメントを持たない照明装置です。電極を持たないことから、点灯によって消耗する部分が無いため寿命が非常に長く、空間全体を明るくする省エネ照明です。

LED と比較しても同等の消費電力且つ長寿命で、一方方向を明るくする LED に対しエコ太郎は太陽光に近い自然な光で空間全体を明るくする優れたもので、工場などの広い空間に適しています。メンテナンスが困難な場所の照明や、高い出力を求められる照明に使用され、年々需要が高まっています。今後は、他の工場への導入も検討しております。

■ 地域・社会とのかかわり

直富商事の業務は、地元の理解がなければ成り立ちません。弊社では、良き企業市民として事業活動を通じて積極的に社会貢献に努め、人と人とのつながりを育むことを大切にしながら地域社会との連携を図り、社会・文化貢献活動を行うことを社会的責任の一つとして捉えています。

社会貢献活動内容



■ 工場見学

近隣住民の方々をはじめ、小学生の社会見学、民間企業や各種団体、行政機関等の皆様を対象とした工場見学を随時行い、工場施設やリサイクルの仕組み・技術を一般公開しています。また、要望に応じて地域の学校へ社員を派遣し、環境学習の一助となる『出前授業』も随時開催しています。



■ 環境保全懇談会

地元の方々より意見・要望等をお聞きする意見交換の場として事業所毎、「環境保全懇談会」を定期的に開催しています。直近1年間の業績報告や今後の事業計画及び騒音・振動・水質などの分析データ報告等も行っています。「環境保全懇談会」にて出された貴重なご意見を活かしながら、今後の事業活動の更なる向上のために取り組んでいます。



■ 地域清掃ボランティア

春と秋の年2回、地元で行われる「クリーン作戦」に参加し、地元の皆様と共に道路清掃や側溝・河川のゴミ回収等を行っています。また毎週木曜日を「清掃環境の日」と命名し、社屋周辺の掃き掃除やゴミ拾いなどを社員が自主的に行い、環境汚染と景観悪化の防止に努め、地域の美化活動に取り組んでいます。



■ 地域行事への参加

毎年7月に行われる地元の伝統ある夏祭り「大豆島甚句祭り」に直富連として毎年参加しています。地域の皆様と一緒に踊り、一緒に汗をかくことで交流が深まり、毎年笑顔あふれるひとときを過ごさせて頂いております。



■国際交流

2004 年、中国河北省石家庄市贊皇県孤山村に小学校を建造寄付し、日中友好の懸け橋となるよう『直富希望小学校』と命名されています。
毎年春に希望小の生徒を中心に 5 名前後を日本に招くとともに、秋はこちらの社員代表団が訪中することで交流しています。



■環境イベント

地球温暖化防止や省エネルギーなどの環境保全をテーマとした環境イベントに毎年出展し、日頃からの環境保全活動を PR しています。

～出展実績～

- ・信州環境フェア 2016
- ・2016 信州中野環境祭



■国道の環境美化

社員の有志で、弊社秋古工場に隣接する国道 19 号線長野市篠ノ井山布施沿いの花壇へ年 2 回夏と秋に花の植替えを行っています。
地域や企業等が実施団体となり、長野市及び国土交通省長野国道事務所が協力して、道路清掃及び植樹管理を行い、道路の清掃・緑化・美化に努める活動『ボランティア・サポート・プログラム活動』に賛同し、弊社も積極的にこのプログラムを推進しています。



■出前講義

弊社社員が講師となり、学校や各施設などで出前講義をさせて頂いております。
長野東高校からの要請で、高校生が働くこととは何かを考えるキャリア教育の一環「しのめお仕事塾」にて、弊社社員が職場講話を行っています。ご要望頂きました内容に基づき、随時講義を行っています。



■資源回収

本社の地元区である長野市立大豆島小学校 PTA 様主催の資源回収に協力させて頂きました。

資源物(新聞・雑誌・ダンボール・牛乳パック・古着・缶・ビン)回収のご依頼があれば、場所や量の大小に関わらず対応致します。

限りある資源をごみとして捨てず、資源として再利用するためのリサイクル活動を進めています。



■地域プロスポーツへの貢献

【信越硬式野球クラブ】

長野市の社会人野球クラブチームである『信越硬式野球クラブ』の投手を正社員として受け入れております。

2016 年は、社会人野球都市対抗二次予選北信越大会にて見事優勝し、都市対抗本大会への出場権を手に入れました。その後の都市対抗本大会では残念ながら初戦敗退という結果でしたが、大健闘を果たしました。



■ 社員とのつながり

人材育成

《基本的な考え方》

直富商事は、経営資源の中で最も価値のあるものとして「人材」を捉え、社員一人ひとりの意欲と向上心を尊重し、プロフェッショナルな人材の育成を目指して、個性や働き方に合わせて最大限能力を発揮できる職場環境づくりを進めています。

社員一人ひとりの成長なくして会社の発展はありません。活力に満ちた職場環境を実現し、社員のやりがいや働きがいの向上を目指して、階層別職種別研修や実務勉強会の実施等、積極的な人材育成に取り組んでいます。

教育研修制度

社員の能力開発と働きがいの向上を重視して、様々な勉強会・研修会を実施しています。

新入社員から役員までそれぞれの階層に応じた共通教育と、各部門や職種の専門性を高める専門教育を実施しています。また、自ら学ぶ社員をサポートするため、各種の自己啓発支援も行っています。

また社員の中から、同じ会社において他部署の業務内容を知る機会が少ないという声があり、他部署の業務を知る為の業務スキルアップ勉強会を、本社工場の鉄／非鉄部門・秋古工場・市場事業所で開催し、多くの社員が自主的に参加して勉強致しました。

～業務スキルアップ勉強会～



本社工場 鉄／非鉄部門



秋古工場



市場事業所

社内・社外セミナー実施状況

研修名	開催月
【共通】幹部・一般社員倫理セミナー	3月、4月
【共通】メンタルヘルス(セルフケア)に関する研修会	11月
【階級別】ビジネスリーダー育成をめざすワークショップ	4月～10月
【階級別】幹部候補生スクール	秋：10月～4月
【階級別】中堅リーダー革新セミナー	6月
【階級別】中堅社員研修	7月、1月
【階級別】新入社員教育実践セミナー	3月
【階級別】新入社員倫理セミナー	4月
【階級別】新入社員フォローアップ研修	11月、2月
【職種別】営業の基本と実務セミナー	6月、1月
【職種別】電話応対(基礎)研修	6月、2月
【職種別】ビジネスマナー研修	6月、2月
【管理者】ビジネスマネージャー検定試験	7月、11月
【管理者】メンタルヘルス(ラインケア)に関する研修会	9月
【中堅リーダー】ECO検定(環境社会検定試験)	7月、12月

平成 28 年度社外講習会受講・各種資格保有状況

勉強会名	人数
第一種運転免許 大型自動車	81名
第一種運転免許 大型特殊自動車	29名
第一種運転免許 けん引	10名
安全運転管理者	9名
副安全運転管理者	9名
足場の組立て等作業主任者技能講習	6名
建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者技能講習	4名
石綿作業主任者技能講習	9名
安全管理者選任時研修	6名
ガス溶接技能講習	36名
フォークリフト運転技能講習	135名
玉掛け技能講習	99名
車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習	54名
車両系建設機械(解体用)運転技能講習	27名
床上操作式クレーン運転技能講習	35名
床上操作式クレーン特別教育(5トン未満)	3名
小型移動式クレーン運転技能講習	59名
高所作業車運転技能講習	13名
不整地運搬運転技能講習	2名
車両系建設機械(基礎工事用)運転技能講習	1名
石綿作業等使用建築物の解体作業	55名
甲種防火管理者	11名
危険物取扱者 乙種第1類	1名
危険物取扱者 乙種第2類	1名
危険物取扱者 乙種第3類	1名
危険物取扱者 乙種第4類	20名
危険物取扱者 乙種第5類	1名
危険物取扱者 乙種第6類	1名
危険物取扱者 丙種	7名
解体工事施工技士	10名
特別管理産業廃棄物管理責任者	33名
一般廃棄物収集運搬処分業者講習	14名
産業廃棄物処理委託契約実務講習	2名
一般廃棄物実務管理者講習	17名
医療廃棄物処理実務研修	2名
建設廃棄物適正処理実務研修	2名
産業廃棄物収集運搬課程	163名
産業廃棄物処分課程	77名
特別管理産業廃棄物収集運搬課程	27名
特別管理産業廃棄物処分課程	20名
遺品査定士	1名
遺品整理士	1名
第一種衛生管理者	2名

働きやすい職場

①仕事と育児・介護の両立支援制度

直富商事では、仕事と生活との両面を支援していく制度として、出産・育児・介護を行う社員への支援施策の拡充に努めています。

【導入支援制度】

- 産前産後休業制度
- 育児休業制度
- 介護休業制度



②業務改善提案制度

(通称：AKP → A 明るい K 会社を創る P プロジェクト)

積極的な勤労意欲の高揚を図るとともに、業務の改善及び能率向上を目的として、月に数回、様々なグループ単位で社長を囲んでの夕食会：通称AKP(明るい会社を創るプロジェクト)を開催し、誰もが平等に提案できる制度を導入しています。

全ての提案が経営トップに届きますので、社員の経営参画意識が高まるとともに、業務上の問題解決や作業の効率化に繋がっています。

③健康的な職場環境

安全・健康で働ける職場環境づくりは、企業にとって重要な社会的責任であると考え、メンタルヘルスを含めた健康管理体制の強化、法に定められた定期健康診断の100%受診に加え、産業医や保健指導員による有所見者への健康指導、メンタルヘルスクアへの積極的な取り組みを進め、心身ともに健康で明るく働きやすい職場環境づくりを目指しています。

《生活習慣病対策》

定期健康診断受診率100%を堅守しています。

定期健康診断受診時に法定外健診の一部項目を社員自らが選択することとし、自分自身の生活習慣を見直し、健康への意識醸成を図ることを目的とした取り組みを展開しています。

《長時間労働の抑制》

長時間労働の抑制に取り組んでいます。

週1回の定時退社日(ノー残業デー)を設定して実施しています。また社員が長時間勤務で健康を害することのないように、上長が部下の出退勤情報についてパソコン画面上で把握・管理できる勤務システムを2014年2月に導入し、過重労働の予防や長時間勤務の抑制に努めています。

《メンタルヘルスクア》

社内にメンタルヘルス相談窓口を設置して、産業保健スタッフを中心に、職場・医療とも連携可能な相談体制を構築しています。

《喫煙対策》

お客様及び社員にクリーンで快適な環境を提供し、たばこによる健康被害を防ぐ為、建物内の全面禁煙を実施しています。「おいしい空気の施設」として、長野県より認定を受けております。

《有給休暇の取得促進》

AKP内の社員からの提案で、自分の誕生日に有給休暇を取得することを会社として推奨したかどうか?という意見が採用され、2016年度から『誕生日には休暇を取ろうプロジェクト(略してTKP)』を実施しています。これは、有給休暇の取得促進を目的としており、社員が誕生日に休みを取得することで、自己啓発やリフレッシュに繋げるものです。

社員表彰制度

1. 永年勤続表彰

永年勤続表彰は、永年勤続 10 年・20 年・30 年・40 年に該当する会社へ貢献した社員を表彰しています。

2. 年間優秀社員表彰

社員のやる気を促すことを目的として、昨年度より最優秀社員表彰制度を導入しました。

各分野で活躍する優秀社員への表彰を行っています。



優秀ドライバー

篠原 純也さん
shinohara jyunya



優秀ドライバー

関塚 拓斗さん
sekiduka takuto



優秀営業マン

前山 大介さん
maeyama daisuke



優秀オフィスレディ

室賀 英里奈さん
muroga erina

友好会による各種イベント、募金活動、資源物回収

社員親睦会である『友好会』を結成し、社員が主体となって毎年様々な行事を企画運営しています。また、ボランティア活動にも力を入れており、幹事を中心に積極的に活動しています。

今年度の活動内容は下記の通りです。

[2016 年度活動内容]

3 月	スキーツアー(白馬)	8 月	友好会総会・残暑払い
4 月	熊本地震募金活動 お花見&BBQ 大会	10 月	ゴルフコンペ
5 月	ゴルフコンペ ポーリング大会	11 月	女子会
6 月	社員旅行 東京観光コース/稲取温泉/ 磯部温泉/ゴルフコンペ	12 月	会社忘年会に協賛
		通年	エコキャップ回収、 エコターミナル設置(資源物回収) 震災時の募金活動



熊本地震募金活動
～くまモン募金箱を全社の受付に設置～



女子会～AMANDANSKYにて～



社員旅行～稲取温泉コース～

Save the Earth.



全ての廃棄物のリサイクル化を目指していきます。

鐵の木下 直富商事株式会社

〒381-0022 長野県長野市大豆島3397番地6

TEL:026-222-1880 FAX:026-222-1881

<http://www.naotomi.co.jp>